

# 第9回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ セツナンダイガク	フリガナ ケイエイガクブ	フリガナ ニシノボウ
摂南大学	経営学部	西之坊ゼミ

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ チーム オフホワイト	フリガナ タケゾエ リナ	4
チーム オフホワイト	竹添 莉奈	

## 研究テーマ（発表タイトル）

健康寿命を延ばすための施設 -コミュニケーション&スポーツセンター（commu&spo ダイヤモンドリリー）-

### 1. 研究概要（目的・狙いなど）

本研究の目的は、介護保険制度における要介護又は要支援の認定を受けた人（以下「要介護者等」という）の人数を減らし、健康寿命を延ばすことに社会に貢献することである。そのために、スポーツ・娯楽・高齢者同士のコミュニケーションを取ることが可能な休憩室等すべて含んだ複合施設を提案する。その施設により、近年多死社会による急激な人口減少を抑え、また人口の多い高齢者にターゲットを当てることにより利用者を増やし、収益を得る。

### 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

近年、少子高齢化が進んでいる。大きな問題の一つとして多死社会が来るといわれている。東洋経済新報社によると<sup>1</sup>、2023年から約50年連続で、年間150万人、毎日4千人以上が死んでいく計算と述べられている。さらには、国民医療費も年々増加しており厚生労働省によると<sup>2</sup>、平成28年度では約42兆1,381億円にものぼる。これは10年前の平成18年度の33兆1,276億円に比べると約9兆円も増加している。多死社会が近づく中で、要介護者等の増加や介護者側の負担の大きさも問題視され、平成24年度末で約533万人となっており、12年度末の約218万人から2.44倍増加しているとされている。さらに内閣府の調査では<sup>3</sup>介護に従事する職員数は大幅に増加しており、平成27年度には12年の約3.3倍の183.1万人にものぼる。一方、60歳以上の男女の要介護者に「介護が必要となった場合に、どこで介護を受けたいか」について聞いた結果、男女とも「自宅で介護してほしい」という意見の人が最も多いという結果となった。

以上により高齢者の増加により様々な問題が深刻化し、また高齢者の増加に伴い高齢者市場も拡大しており、ビジネスチャンスが潜んでいると考えられる。

### 3. 研究テーマの課題

- 多死社会により、一気に死亡すると、労働者数の減少や、経済が不安定になると考えられる。
- 介護者の減少や、高齢化により、これからさらに要介護者と介護士のバランスが悪くなる。
- 医療費の増加

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

以上の課題から、健康寿命がのびれば解決すると考えた。健康寿命がのびることで、一気に死亡することを抑え、これから介護される時期を遅らせ、医療費も抑えることができる。健康寿命をのばすには、①生きがいを持つこと ②コミュニケーションをとること ③適度な運動をすること が必要だと導いた。生きがいをもつことの効果は、持っていない人より生存率が高い。コミュニケーションをとることの効果は、脳への刺激やストレスの減少、うつ病の対策などがある。運動の効果は、運動の種類にもよるがストレスの発散や、生活習慣予防、などがある。高齢者の病気に多い、サルコペニアやロコティブシンドロームは運動することによって予防することができる。

それら3つの事を、同じ建物でできるのがダイヤモンドリリーである。

## 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

ダイヤモンドリリーは、適切で適度な運動ができる場所や、生きがいを見つけ、コミュニケーションがとれる様な場所を提供する。つまり、運動ができる場所、様々な趣味をすることができる場所、コミュニケーションをとることができる場所を一つの施設に取り入れる。実際に、外出の有無ややりたいことについてアンケート調査を行った。アンケート調査の対象は、65歳以上の有料老人ホームで過ごされている方である。

## 6. 結果や今後の取り組み

アンケート調査の結果、まず生きがいは何かと聞いたところ、「何もない」と「家族や友人と話すこと」が、全体約23%で最も多かった。また、趣味は何かと聞いたところ、カラオケや、編み物、菜園など様々だったが、ほとんどの人が今はできないと答えた。「ダイヤモンドリリーのような施設に行ってみたい」かについて聞いてみたところ、約82%の方が「はい」と答えた。「いいえ」と答えた方の理由としては、今の老人ホームで満足しているや、ひざが痛くて外には出れないという回答となった。

このアンケート結果により、ダイヤモンドリリーをつくるには、送迎が不可欠であり、高齢者になるまでも運動をし、将来のための体づくりが必要である。

また、アンケート結果より、ダイヤモンドリリーに設置する施設を決定した。

1. スポーツをする目的の施設：筋力トレーニング、バランス訓練（ヨガなど）、水泳、（全てインストラクター付）
2. 生きがいや趣味を行う為の施設：囲碁・将棋、菜園（庭）、カラオケ、多目的室（イベント）
3. コミュニケーションをとる為の施設：談話・休憩室、食堂
4. その他の施設・設備：シャワールーム、温泉（銭湯）、自動販売機、

65歳以上の方のための施設だが、どの年齢層でも利用することができる。

会員制とするが、コミュニケーションをとる為の施設は、無料で会員以外も自由に利用できる。また、談話、休憩室は本や編み物など自由に持ち込むことができる。

多目的室は、お年寄りを楽しませるため、できるだけ毎日14:00～イベント事を開催する。例えば、映画鑑賞や、地域の中学生、高校生の演奏や出し物などをする。

価格設定は、1・3・4の利用もしくは、2・3・4の利用で月10,000円、すべての施設の利用で月18,000円とする。

営業時間は10:00～18:00

施設の場所は、倒産した老人福祉、介護事業を行っていたところを使う。老人福祉、介護事業は年々倒産数が増加しているので、その建物を使用することによって、建設費の費用を抑えることができる。<sup>4></sup>

## 7. 参考文献

<sup>1></sup>『東洋経済新報社』（2018）「2018年8月14日朝刊」<https://toyokeizai.net/articles/-/233003>（2018年10月24日閲覧）

<sup>2></sup>厚生労働省ホームページ「平成28年度国民医療費の概況」(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-iryohi/16/index.html>)2018年10月31日閲覧

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-iryohi/06/kekka1.html>（2018年11月6日閲覧）

<sup>3></sup> 内閣府ホームページ「第2節 高齢者の姿と取り巻く環境の現状と動向（3）」

([http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2017/html/zenbun/s1\\_2\\_3.html](http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2017/html/zenbun/s1_2_3.html))2018年11月7日閲覧

4>株式会社東京商工リサーチ「2017年度「老人福祉・介護事業」の倒産状況」([http://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20180409\\_06.html](http://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20180409_06.html))2018年11月9日閲覧

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

なし

●発表時に使用する成果物（例、商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

なし

**【企画シート作成上の注意】 ※「第9回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。**

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。